

# 慣用句の基本をマスター！ 読み・書き・意味

名前

26問

## 問題 一

(一) 次の慣用句の——部分の読みがなを( )に  
ひらがなで書きましょう。

- ① 一瞥もくれない ( ) ( ) ( )
- ② 杞憂に終わる ( ) ( ) ( )
- ③ 五月雨式 ( ) ( ) ( )
- ④ 糠喜び ( ) ( ) ( )
- ⑤ 道草を食う ( ) ( ) ( )
- ⑥ 反りが合わない ( ) ( ) ( )
- ⑦ 匙加減ひとつ ( ) ( ) ( )
- ⑧ 恩を仇で返す ( ) ( ) ( )
- ⑨ 雨後の筍のごとく ( ) ( ) ( )
- ⑩ 槍玉に挙げる ( ) ( ) ( )

(二) 次の慣用句のカタカナ部分を( )に漢字で書きましょう。

- ① イッシを報いる ( ) ( ) ( )  
反撃すること。相手に仕返しをすること。
- ② オメイを返上する ( ) ( ) ( )  
不名誉な評判や評価を、努力や成果によって取り除くこと。
- ③ モンコを開く ( ) ( ) ( )  
新しい人や物事を受け入れるために、制限を緩めたり、機会を与えたりすること。
- ④ 烏のギョウズイ ( ) ( ) ( )  
入浴時間が非常に短いことのとえ。
- ⑤ カブが上がる ( ) ( ) ( )  
その人の評価や評判がよくなること。

## 問題 三

次【一】の慣用句を使って、短い文を作りましょう。

【雲泥の差

】二つのもの間に非常に大きな違いがあること。

## 問題 二

(一) 次の慣用句の意味として正しいものを、ア〜ウから選び、○をつけましょう。

① 絵空事を並べる

- ア 現実離れた、ばかげた話ばかりすること。
- イ 空に浮かぶ雲の絵を描くこと。
- ウ 美術館にたくさんさんの絵を飾ること。

② 月とすっぽん

- ア 夜空の月と、池のスッポンを観察すること。
- イ 二つのものがひどく違っていて、比べものにならないことのとえ。
- ウ 月明かりの下でスッポン料理を食べること。

③ 梨のつぶて

- ア 梨の種を遠くまで飛ばす遊びのこと。
- イ 梨の形をした石ころのこと。
- ウ 手紙や連絡を送っても、全く返事がないこと。

④ 焼け石に水

- ア 焼いた石を水で冷やすこと。
- イ 熱い石でお湯を沸かすこと。
- ウ わずかな援助や努力では、効果がほとんどないことのとえ。

⑤ 鯖を読む

- ア 魚の数を数えること。
- イ 本の内容を大声で読むこと。
- ウ 自分の年齢などを実際と違うように言うこと。

(二) 次の意味に合う慣用句を、ア〜ウから選び、○をつけましょう。

- ① 相手の弱みや困っている状況につけこんで、自分に有利なようにふるまうこと。  
ア 足元を見る    イ 手をこまねく    ウ 高みの見物
- ② 戦いや競争、議論などが開始されること。  
ア エそを曲げる    イ 袋叩きにあう    ウ 火蓋を切る
- ③ 長年の経験などによって考え方や信念などが非常に強固で、簡単には変わらないこと。  
ア 付け焼き刃    イ 筋金入り    ウ 型にはまる
- ④ 自分は安全な場所において、他人の争いや揉め事などを傍観すること。  
ア 足元を見る    イ 火の粉を払う    ウ 高みの見物
- ⑤ 物事の最も困難な時期や危機的な状況を乗り越えること。  
ア 峠を越す    イ 山場を迎える    ウ 頂点を極める

知らない言葉は調べてみよう！

